

デジタル・イメージング技術部会 講演要旨

開催日：2015年9月16日（水） <2015-2>

テーマ：「空中映像とインタラクティブデザイン」

講演者：苗村 健氏（東京大学 大学院 情報学環 教授）

実像を結像する光学系を用いることで、映像ディスプレイの物理的な枠から手前に飛び出した空中映像をユーザに提示することができる。古くは、フレネルレンズなどが用いられてきたが、レンズ結像による奥行き方向の非線形性や、視点移動に伴う歪の発生が問題となってきた。近年、微小なコーナリフレクタをアレイ状にならべることで、これらの問題を解決した空中映像の提示が可能になってきた。これによって、実物体と空中映像を混在させた裸眼複合現実感システムの実装も、現実味を帯びてきた。本講演では、空中映像を組み込んだいくつかのシステムを紹介し、そこでユーザに促されるインタラクティブのデザインについて論じた。テーブルトップの水平映像に垂直の小型空中映像をあわせて提示する HoVerTable、水平・垂直の空中映像間でオクルージョン表現を可能にした Mid-air Plus、通常の机の上に空中映像を提示する EnchanTable などのデモ展示を通じて、その可能性を体験していただいた。

